



1月7日 **雪のお布団 気持ちいいな!**

保育所の園庭に雪が積もり、今シーズン初めての雪遊びが行われました。子どもたちは、寒さも吹き飛ばすくらい元気に、楽しそうに遊んでいました。

2022
No.47

令和4年2月1日発行

12月定例会

- 子育て世帯へ児童一人につき10万円を給付 など P2~4
- 村内の工事現場などを視察 P5
- 委員会活動「現場の声」を吸い上げ
消防団員確保のため改善策の検討を など P6~7
- 一般質問 村政を問う!! P8~10
- 議会だよりモニターを募集します! P10
- 議会だよりモニター通信 P11
- 議会要望事項の回答 (全員協議会) P12~13
- 村民の声「『小さな便利』や『小さな快適』を活用」 P14

子育て世帯へ児童一人につき10万円を給付

今定例会では4件の補正予算をはじめ、専決承認や条例の改正など合計10議案が提案され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

補正予算の審議では、子育て世帯への支援として児童一人につき10万円を支給する臨時特別給付金支給事業費や、3回目の接種へ向けての新型コロナウイルスワクチン予防接種事業費などが可決されました。

また、会期中に全員協議会を開催し、

昨年9月に議会から村長へ提出した要望事項の回答について執行部から説明を受けたほか、村道等の工事現場を視察し、工事の進み具合や完成した現場の状況などを確認しました。

（詳細はP5・12～13）

定例会初日の一般質問には3名の議員が登壇し、村の人口減少対策や、トウモロコシのブランド化の推進、高齢者の免許返納後の対策など、さまざまな角度から村の姿勢を問いいただきました。

（詳細はP8～10）

専決承認

職員の賞与額を引き下げ

鳴沢村職員給与条例一部改正の専決処分（※）承認

人事院の給与に関する勧告並びに一般職の国家公務員及び山梨県職員の給与改定等に伴い、職員給与条例の整備を行うために専決処分したことについて報告され、承認しました。

改正内容は、職員の期末手当の額を民間の支給割合に合わせて0.15月分引き

下げ、年間の期末・勤勉手当を4.30月とするものです。

※専決処分

議会が議決・決定すべき事項を、特定の場合に限り、村長が議会に代わって処理すること

おもな補正予算

一般会計 1億2649万円を追加し、予算総額は22億7764万円に

おもな使いみち

●子育て世帯への臨時特別給付金支給事業	4787万円
●住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業	3943万円
●新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	1599万円
●ナラ枯れ対策事業補助金	400万円
●保険基盤安定繰出金	398万円
●介護保険特別会計繰出金	287万円
●未熟児養育医療費	280万円
●人件費	264万円
●児童手当法改正対応委託料	220万円
●出産祝金(第3子以降)	150万円
●合併処理浄化槽設置補助金	138万円
●村民体育祭り実施事業	△200万円

おもな財源

●子育て世帯への臨時特別給付金事業費	4600万円
●子育て世帯への臨時特別給付金事務費	187万円
●住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費	3700万円
●住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事務費	243万円
●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金	1389万円
●純繰越金	797万円
●新型コロナウイルスワクチン接種費用(住所地外接種)	334万円
●新型コロナウイルスワクチン接種事業費負担金	209万円

介護保険特別会計

1922万円を追加し、 予算総額は3億3500万円に

使いみち

●施設介護サービス給付費	1400万円
●地域密着型介護サービス給付費	480万円
●高額介護サービス費	42万円

財源

●介護給付費負担金(国・県合計)	625万円
------------------	-------

●介護給付費交付金	519万円
●第1号被保険者特別徴収保険料	453万円
●介護給付費繰入金	240万円
●令和2年度低所得者保険料軽減負担金精算に伴う繰入金	47万円
●調整交付金	38万円

(万円未満四捨五入)

おもな条例改正

出産育児一時金の支給額42万円を維持

鳴沢村国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等の一部改正に伴い、産科医療保障制度が見直されること等を踏まえ、出産育児一時金等の支給額を見直すことと

されたため、同一時金の支給総額42万円を維持するために所要の改正を行いました。

(担当:住民課)

一部事務組合の設立

新たなごみ処理施設建設に向けて組合を設立

富士・東部広域環境事務組合の設立について

令和4年2月1日から、富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村および丹波山村でごみ処理施設に関する事務を共同処理するため、規約を定め、富士・東部広域環境事

務組合を設立することとなりました。

今後、当組合において地域住民の合意形成に向けた取り組みや、基本構想・基本計画等の策定など、新たなごみ処理施設の建設に向けて協議を重ねていく予定となっております。



村内の工事現場 などを視察

村内で行われた道路工事等の現場視察を12月14日に行い、工事の進み具合や完成状況の確認をしました。



村道703号線拡幅改良工事、配水管布設替工事

北富士ゴルフコース脇の村道が老朽化していたため、拡幅改良工事が実施され、併せて害獣侵入防止のグレーチング及び浸透枡が設置されました。道路工事に先駆けて配水管も更新されました。

道の駅なるさわ浄化槽改修工事

防災拠点としても活用される道の駅なるさわにおいて、浄化槽の改修工事が行われていました。国の補助金を活用し、災害用マンホールトイレとしても使用できる610人槽の浄化槽が整備されます。



急傾斜地崩壊対策事業

土砂災害が懸念される総合センター裏側斜面の崩壊対策工事が山梨県の事業として実施されており、落石防護柵の設置が進められていました。今後は北西側の民家の保全を目的とした重力式擁壁の設置が予定されています。

村道226号線舗装打換え工事、配水管布設替工事

三浦直也宅から北へ向かう村道が老朽化していたため、配水管の更新と舗装打換え工事が実施されました。勾配がなく排水が出来ない箇所があったことから、既存擁壁を一部嵩上げて路盤が高く調整されています。



総務教育厚生常任委員会

委員長
佐藤博水

現場の声を吸い上げ

消防団員確保のため 改善策の検討を

12月7日に、村の消防防災にご尽力いただいている鳴沢村消防団の各分団長、副分団長及び班長の皆さまとの座談会を開催し、ご意見やご要望などをお伺いしました。

消防団の皆さまからは、おもに次のようなご意見やご要望等をいただきました。



【人員不足の問題】

- ◆喫緊の課題として人員の確保があげられる。村の人口が減り、若い世代の多くが進学や就職で村外に出ており、住民票はあっても村外に居住している者もいるためかなり人員確保が厳しい。いずれは分団の統合を検討しなければならないときが来ると思うので、行政と消防団で協力して今後の体制を考えていってほしい。

【イメージの改善】

- ◆団員を勧誘する際に家族から断られるケースも多いが、消防団のイメージが悪いことが一因ではないか。自分も、夜遅くまで酒を飲むようなイメージがあったが、今はそのようなことはなくて、飲酒の強要もなく楽しくやっている。悪いイメージを払拭していきたい。
- ◆実際の活動をもっと表に出していくのもいいのでは。広報等で「地域のためにいろいろな世代の人が協力して、活動も楽しくやっている」ということをアピールできれば、イメージも変わるのではないかと。

【優遇制度導入の検討】

- ◆いろいろな世代の方との交流もできて自分にとってはプラスとなったが、入団してもらうまでのハードルが高い。本人や家族に対して目に見えるメリット・特典等があれば、家族の理解を得られやすいと思う。

- ◆消防団で交流を深めることにより今後の村での生活のプラスになると思い、転入してきた方も勧誘しているが、家族の方に断られるケースがある。家族に対しての目に見えるメリットなどがあれば、勧誘しやすくなると思う。

【水利点検や操法訓練の負担軽減】

- ◆人員の減少により、水利点検等の負担も大きくなっている。
- ◆出初め式等での操法披露のための訓練はかなり負担が大きい。より実践的な放水を披露した方が見ている側も訓練の成果が分かりやすいと思う。放水であれば直前の訓練回数も少なく、負担も軽減される。
- ◆出初め式での操法披露には新メンバーで臨むため3月頃から訓練を始めるが、新体制で勝手がわからないなか、短期間に練習を詰め込むため非常に苦労している。

【水利の除雪作業への協力】

- ◆仕事を終えてから夜間に水利の除雪に行くことが多いが、人員不足もあり負担が大きい。防災無線等で協力依頼の放送を流して、住民の方に除雪協力してもらえると非常にありがたい。

座談会を終えて

座談会ではこのほかにも、いろいろなお話を伺いましたが、多くの課題が人員不足を起因としており、また、それぞれの課題が相関関係にあるものと感じました。

当委員会では、団員確保のためのイメージアップ戦略や本人・家族への優遇措置の検討、除雪・水利点検作業や操法訓練等に対する負担軽減の方策、消防団の組織体制整備やOBの支



援体制構築の検討などについて、消防団としてできることと行政で対応することに振り分けるなどして課題を整理していき、消防団の皆さまのご意向に沿えるよう、今後も改善策の検討を続けていきたいと考えております。

この機会に住民の皆さまにも消防団の抱える課題や現状をご理解いただき、ご家族の入団に際してのご協力や、冬期の除雪作業等へのご協力などを是非お願いしたいと思います。

建設産業経済常任委員会

委員長
渡辺次男

12月3日に、建設産業経済常任委員会を開催し、令和3年度道路工事等の進捗状況の確認や、道の駅リニューアルについて意見交換を行いました。

◆令和3年度道路工事等の進捗状況の確認

振興課より、今年度実施している村の工事（村道の拡幅改良1件、舗装打換え3件、配水管布設替3件、井戸ポンプ入替1件）のほか、国で実施している国道139号天神山地区歩道整備事業、県が主体となって行っている総合センター裏山の急傾斜地崩壊対策事業などの工事について、内容や進捗状況等の説明を受け、進捗状況等に問題がないことを確認いたしました。

なお、定例会会期中の14日には、これらの工事について議員全員で現地視察を実施いたしました。（詳細はP5）

◆道の駅リニューアルについて

10月14日・29日、11月22日に開催した「道の駅専門部会」での協議事項を報告し、その内容をもとに意見交換を行いました。

道の駅なるさわは、指定管理者であるJA鳴沢村が管理・運営を行っていますが、「山梨県内1JA化」の構想もあるなか、将来的には管理体制の見直しが必要であると見込まれます。

今後の道の駅なるさわの管理体制について、JA鳴沢村の動向を伺いながら、今後も専門部会や当委員会で協議を継続していききたいと思っております。